様式３(2020.08改)

作成日　令和3年3月10日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201943
事業所名	アバンセグループホームこころ

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	活発であった地域との交流がほぼ全面的にストップしており、ボランティアの受入れも中断中である。 人込みを避けて散歩に出たり、ドライブに出かけて車の中から街の様子や自然の景色を楽しんでいる。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	**評価**
重点項目②	毎奇数月に開催される予定の運営推進会議は、今年度はすべて書面開催となっている。 会議メンバーに対して、事前に活動報告と2ヶ月分の「こころいきいき通信」(ホームだより)、返信用の意見聞き取り用紙を送付している。 返信されてきた意見や要望を会議議事録で紹介している。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	**評価**
重点項目③	地域包括支援センターの担当者が、書面開催となった運営推進会議に毎回意見や助言を寄せており、行政(介護保険課)とのパイプ役となっている。 入居する2名の生活保護受給者の入院に際し、様々な問題について市の福祉課と調整している。コロナ禍のため、電話を使っての調整である。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	**評価**
重点項目④	昨年11月以降、ホームでの家族の面会は原則中止となっている。代替えとしてZoomによるリモート面会を実施しており、一部の家族の利用がある。 写真を多く取り入れた「こころいきいき通信」は、コロナ状況下でも「ホームの様子がよく分かる」と、好評である。	○
	その他軽減措置要件	**評価**
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

市の方針に従い、毎奇数月に開催される予定の運営推進会議は、今年度はすべて書面開催となっている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										